

C 基本的な生活習慣の定着

1 生活重点目標の設定

(1) ねらい

生活重点目標を示し、全体で共通理解することで、児童のよりよい生活習慣の定着を図ると共に、自らの生活をよりよいものにしていこうという意識を高める。

(2) 内容

学校生活の重点目標を、以下の通り3項目定め、「3つの生活目標」として示し、全クラスでこれを統一して指導を行う。また、月初めの生活目標に設定し、重点的に指導を行う。

「3つの生活目標」

- | | |
|--------|----------|
| ①あいさつ | (自分から) |
| ②掃除 | (だまって) |
| ③身だしなみ | (気持ちのよい) |

① 「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」を中心に、あいさつの指導を行う。

各学年輪番で、朝のあいさつ運動や中学校区で連携したあいさつ運動を実施する。

②黙動清掃の徹底をする。音楽で整列、あいさつ、掃除、片付け、あいさつの手順で行う。特別教室やトイレなどへも指導を充実させるため、基本的にエリア別の清掃指導を実施する。

③毎朝身だしなみを整える時間を確保する。また、学校行事や学年集会など、多くの人が集まる際や、校外での行事の際には、必ず服装の確認を行う。

2 休み時間の過ごし方の共有化

(1) ねらい

児童の休み時間の過ごし方を示し、全体で共通理解することで、児童が安全に気を付けて仲良く過ごそうという意識を高める。

(2) 内容

児童の休み時間の過ごし方を、以下の通り3項目定め、「休み時間のあいことば」として示し、全クラスでこれを統一して指導を行う。

「休み時間のあいことば」

- | | | |
|------|-------|-------|
| ① 準備 | ② 仲良く | ③ 安全に |
|------|-------|-------|

3 規則正しい生活の習慣づけ

(1) ねらい

学校が中学校・家庭と連携し、規則正しい生活と家庭学習の習慣を身につけさせ、「自分で考え、よりよい行動ができる子ども」の育成を図る。

(2) 内容

○ 「生活チャレンジカード」

学校生活での、「あいさつ」、「身だしなみ」、「黙動清掃」などについて、また、家庭での生活での「就寝時刻」、「学習時間の様子」などについて自己評価できる「生活チャレンジカード」を、学期初めに配布し、子ども自身に振り返らせるとともに、保護者にも見てもらう。実施したカードは、年間を通して綴じ、(1年生は、専用カードを作成。2～6年生は音読カードの横)生活指導に生かす。

また、他のカードとの重複を避け、チェックカードが月に複数枚にならないように配慮する。

○ 地区児童会と登校反省カード

学期の初めに、教室で地区児童会を実施する。地区や班のメンバーや、集合場所・時刻の確認を行う。登校中の注意点についての指導を行い、登校反省カードを1週間程度実施する。また、学期に1回程度、下校指導を実施する。